

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食用ほおずきによる地域特産品事業	
事業主体 (連絡先)	白馬サンサン会 北安曇郡白馬村北城 7193-1 電話 72-2273	
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	1,570,330 円	(うち支援金： 874,000 円)

#### 事業内容

食用ほおずきを地域の特産品として位置付けるために以下の事業をおこなう。

- ・生産量の拡大と栽培技術の普及をめざし、地域内での生産者の増、作業への協力者の増。
- ・加工品を充実させて通年ほおずき商品が流通するようにする。
- ・ほおずきのギフト商品を作り、ふるさと納税のお返しの品や白馬のお土産として利用してもらう。
- ・ほおずきの可能性を広げるために少しずつ新商品を開発していく。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

生産量の増加

- ・生産協力者の増加 (1企業、2農業者の増)
- ・作業協力者の増加 (団体外で5名の増)

認知度のアップ

- ・メディアで取り上げられるようになった。
- ・問い合わせが急増した。

ギフト商品

- ・新商品ができて7種類のギフトセットが出来た。
- ・加工品(シロップ漬け)で県知事賞をいただくことができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

生産者が高齢になってくるため効果的な作業で収量を上げていく努力がこれから必要。

若い人たちを雇用して、農業の悪いイメージを払拭し農業に興味を持つ若者を増やしていきたい。

ほおずきが白馬村の魅力となるように、積極的に村内で使ってもらえるように行政とも連携しながら努力をしていきたい。



【上：商談会 下：ギフト商品】

#### 【目標・ねらい】

- ①生産量の増加と安定的な確保
- ②県内外でほおずきをアピールしてもっと認知度を上げる
- ③ギフト品を作り白馬のお土産として利用してもらい、ほおずき＝白馬村をイメージ付ける

#### ※自己評価 【 A 】

【理由】 栽培の歩留まりはまだまだで栽培技術の向上は必要だが、生産量は前年より増加。取引先が増えて売上も増加した。メディアに取り上げてもらったことで白馬のほおずきの認知度は上がった。地元からの応援や期待も大きく、今後のやる気にも繋がったと思われる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある